

シンポジウム1

1月30日(土) 9:40~11:10

(第1会場)

Young! Diabetologists Research Symposium

座長：島田 朗 (埼玉医科大学 内分泌糖尿病内科)

弘世 貴久 (東邦大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野)

1. 脂肪肝とインスリン感受性研究の17年間を振り返って
熊代 尚記 (東邦大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野)
2. Glutaminolysisの糖尿病および癌における役割解明
鈴木佐和子 (千葉大学医学部附属病院 糖尿病代謝内分泌内科)
3. 膵β細胞におけるオートファジーの役割について
西田 友哉 (順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学)

シンポジウム2

1月30日(土) 12:40~14:10

(第1会場)

「糖尿病医療者・研究者のダイバーシティをpromoteする委員会」主催講演会 医療者・研究者の働き方改革～飛躍と継続に向けての提言～

座長：藤本 啓 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 糖尿病・代謝・内分泌内科)

富樫 優 (横浜市立大学 内分泌・糖尿病内科)

第一部

1. 生き残れる組織になるための働き方改革
小室 淑恵 (株式会社ワーク・ライフバランス)

第二部

2. アンケート調査に基づいた男女共同参画学協会連絡会の提言要望活動
志牟田美佐 (東京慈恵会医科大学 薬理学講座)

シンポジウム3

1月30日(土) 14:30~15:50

(第1会場)

会長企画：まだまだ進化する糖尿病の注射療法

座長：弘世 貴久 (東邦大学医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌学分野)

西村 理明 (東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)

1. 100周年を迎え、さらに進化する「インスリン療法」

佐藤 淳子（順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学）

2. まだまだ進化するGLP-1受容体作動薬

大西由希子（朝日生命成人病研究所 糖尿病代謝科）

3. 持効型溶解インスリン/GLP-1受容体作動薬配合製剤の有効な活用法と広がる可能性

吉川美久美（東邦大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野）

激論！糖尿病診療

1月31日(日) 10:20～13:00

(第1会場)

10:20～12:00

座長：植木浩二郎（国立国際医療研究センター研究所）

内野 泰（東邦大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野）

第一部：AI、深層学習はこれからの糖尿病外来診療にどう影響してくる？

1. AIによるデータ駆動型研究が拓く創薬や医療

山西 芳裕（九州工業大学 大学院情報工学研究院 生命化学情報工学研究系）

2. AI眼底画像診断は診療に役立つのか？

畑中 裕司（大分大学 理工学部）

第二部：COVID-19など、今後の様々な新興ウイルスへの対応は？

3. コロナ時代の感染症対策 ～私たちの経験と英知を結集して～

舘田 一博（東邦大学）

12:00～13:00

座長：横手幸太郎（千葉大学大学院医学研究院 内分泌代謝・血液・老年内科学）

熊代 尚記（東邦大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野）

第三部：わが国の2型糖尿病 第一選択薬は？

～SGLT阻害薬をメトホルミンより先に使う？～

4. SGLT阻害薬から

鈴木 亮（東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野）

5. メトホルミンから

駒津 光久（信州大学 糖尿病・内分泌代謝内科）

6. 追加発言：では、DPP4阻害薬は？

鳴山 文華（東邦大学医学部 内科学講座 糖尿病代謝内分泌学分野）